

9月16日(火)

発表予定者

関 庚炫(ミン・キョンヒョン)

消費者の非合理的購買行動における感性的・無意識的行動化メカニズム

1998年渡日。早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院ビジネススクール MBA 修士課程修了、同大学院アジア太平洋研究科国際経営専攻博士後期過程を経て、現在同大学院商学学術院 WBS 研究センター助手。購買対象に対する感覚・感性的意思決定誘因や環境的購買誘因を介して消費者の潜在的購買情報処理過程を究明する研究に携わっている。専門は、消費者行動論。

要旨

近年、消費者の非合理的購買行動に関する様々な観点からの考察を行っている研究が増えている。例えば、知覚していない誘因によって発生する無意識的購買行動や認知処理過程上発現する非合理的な購買行動に関する研究がそれであるが、最近このような問題に対する論議が比較的活発に行われてはいるものの、その具体的内容に関する説明は、依然として抽象的・直感的なものとなっているのが現状である。

このような非合理的購買行動に影響を及ぼす諸誘因を明らかにすることは、常に消費者のニーズを把握し、より有効な戦略計画を立てようと努力しているマーケティング主体にとって、合理的購買行動を決定付ける誘因を究明すること以上に重要な課題となる。

本研究報告では、消費者の非合理的購買意思判断に関して、既存の認知理論や経済合理性等の合理的観点からの説明に加え、メディアや店頭における広告メッセージなどといった与えられた情報に対する非合理的な情報解釈過程に影響を与える判断誘因を示し、それらの誘因が最終的な購買行動につながる一連の過程に関する概念的考察を行うことで、消費者の内部において生じている説明し難い購買行動を把握するための手がかりとなる仮定上の要因の存在可能性を提示することを目的とする。

Commentator

TBA